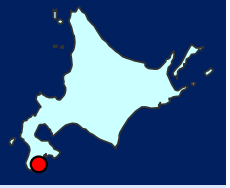
第3種 福島漁港（北海道福島町）

福島地域マリンビジョン策定（モデル地域）

福島（ふくしま）地区特定漁港漁場整備事業計画

渡島中部圏域 生産拠点



現状と課題

・野天での陸揚げ・荷さばき・出荷作業のため、鳥糞などの混入や直射日光などによる水産物の品質低下の懸念がある。
・大規模災害発生後において緊急物資輸送機能への影響や、漁業活動が長期間休止するおそれがある。
・港内の静穏度不足、低天端岸壁の不足、船揚場利用時のコンブの品質低下や冬期間の除雪等の重作業などが課題。

港　勢　（R5港勢調査）

登録漁船：134隻
利用漁船：171隻
（内、外来漁船：37隻）
属地陸揚量：844トン
属地陸揚金額：3．6億円
主な魚種：コンブ類、ウニ類
組合員数：66人

◎福島漁港の役割

・コンブ養殖、ウニ漁業など沿岸漁業の生産拠点
・津軽海峡で操業するイカ釣り外来船の基地港

主　要　対　策

主な整備方針

・イカ釣り漁業やマグロはえ縄漁業などの陸揚げ、出荷作業時における衛生管理対策の強化を図るため、屋根付き岸壁等の整備を行う。
・大規模災害発生後の緊急物資輸送機能の確保及び水産業の早期再開のため、耐震強化岸壁に接続する道路及び岸壁背後用地の液状化対策を行う。
・港内静穏度の確保、越波防止を図るため、突堤及び護岸の整備を行うとともに、養殖コンブの品質確保や就労環境改善を図るため、船揚場の屋根掛け、岸壁の低天端化を行う。

基本事項

全体事業費：35．9億円
事業期間：H30～R9

主要な対策①：衛生管理対策

野天での陸揚げ

屋根付き岸壁整備のイメージ

主要な対策②：防災対策

緊急物資輸送状況（イメージ）